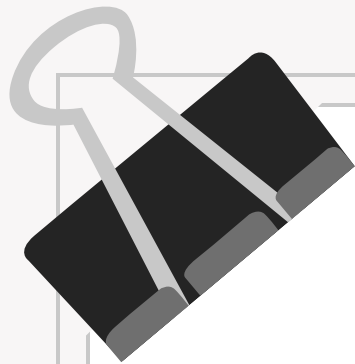


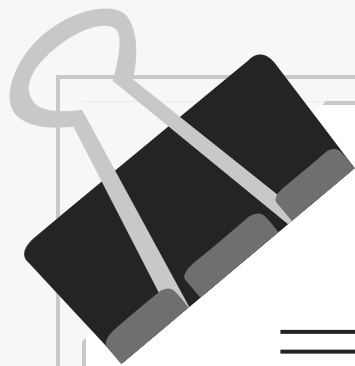


———— [REPORT] ————

オオサンショウウオ班 中間報告

2026/7.10

井上・和田・児島・清水・松本



[目次]

01

探究の背景・目的

02

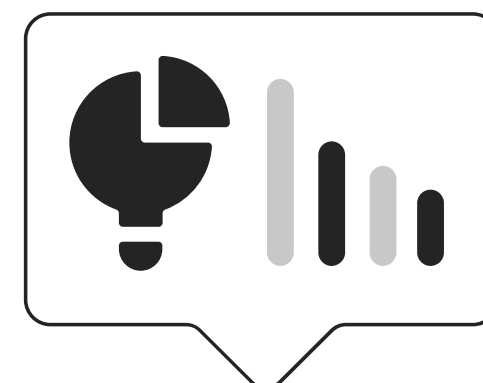
活動・考察

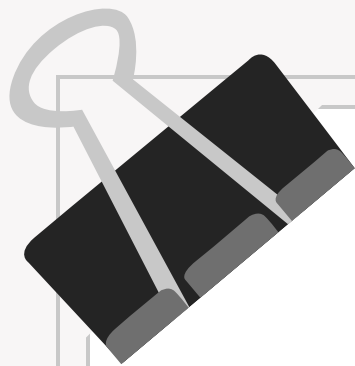
03

課題

04

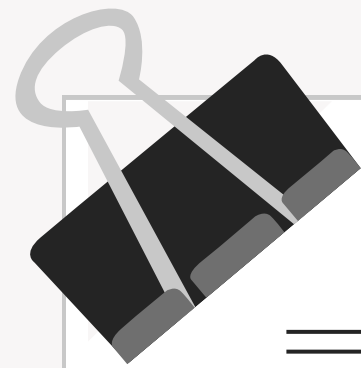
今後の展望





01

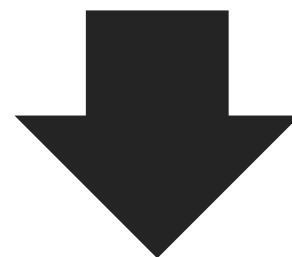
探究の背景・目的



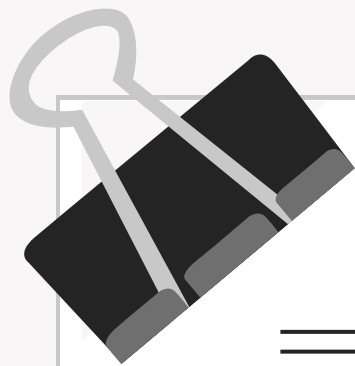
【 探究の背景 】

- 昨年度、一部の人工巣穴の清掃
- 利用されていなかった巣穴でオオサンショウウオを確認

しかし



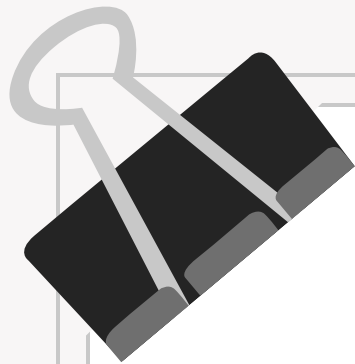
- 具体的に**どのような環境を好むか**は不明
- 「埋まったら掃除する」だけでは**持続的な管理が難しい**



【 目的 】

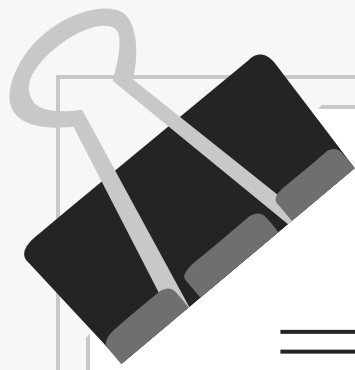


- ①オオサンショウウオが好む巣穴の条件を明らかにする
- ②維持管理に役立てるため、土砂の堆積について分析する



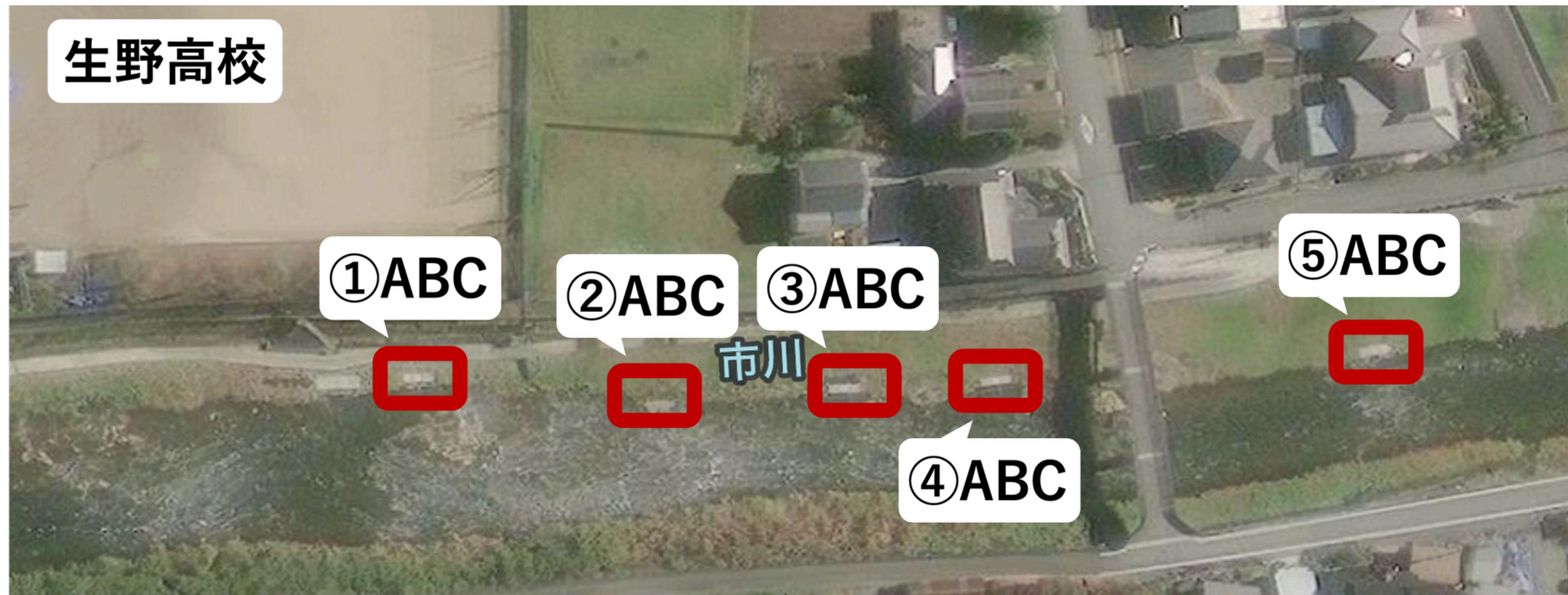
02

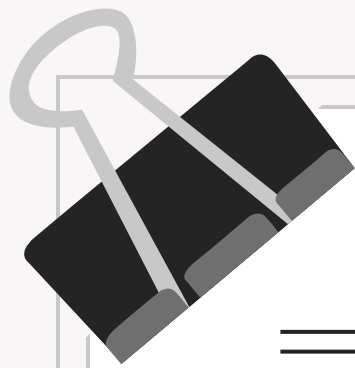
活動・考察



[① 予備調査]

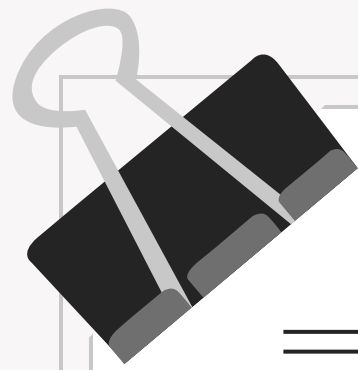
- ・ 各巣穴に名前をつけた（5カ所に3個ずつ、計15個）
- ・ 週1回程度、在・不在確認を中心に内部環境を調査





【 予備調査で見えてきたこと 】

- よく利用される巣穴と、ほとんど利用されない巣穴がある
- 水深**15cm**前後で利用される傾向
- 流れがない巣穴も、流れが強すぎる巣穴も利用されにくい



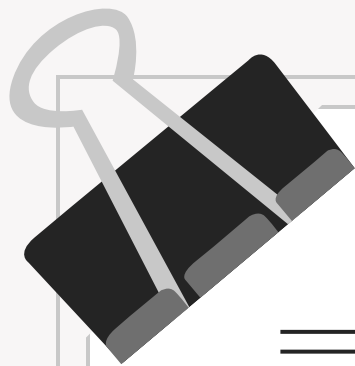
【 現時点での仮説 】

仮説① 水深15cm前後の巣穴を好む

仮説② 適度に水が循環する巣穴を好む

2026年6月現在

➡ 検証のため、天気、水深、流れ、在・不在を継続的に記録



[② 調査方法の改善]

- ・ 在、不在の判定精度に課題があった

➡ GoProを導入



- ・ データ量が増えると管理が難しい

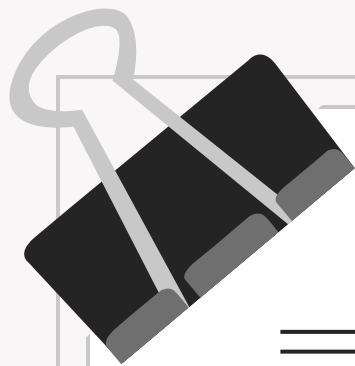
➡ Googleフォームから
データ入力して蓄積

1-A 水深（1番深いところ）

回答を入力

1-A 流れ

- ☐ ない
- ☐ ゆっくり
- ☐ はやい



[③ 本調査]

・ 各巣穴の利用率 (%) 6/5~6/29 (データ数 6)

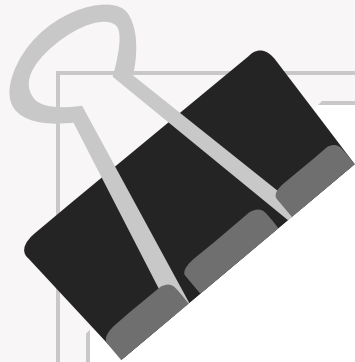
①			②			③			④			⑤		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	50	0	0	0

➡ 現時点では利用が偏っている

・ 利用されたときの平均水深 **約15.5cm** (最大27cm、最小4cm)

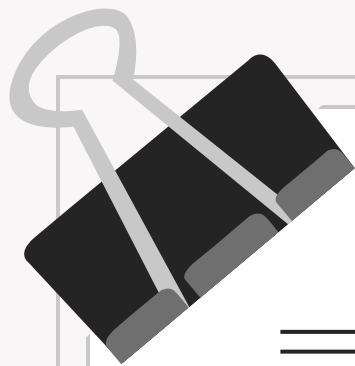
➡ データ数が少ないため、引き続き調査





03

課題

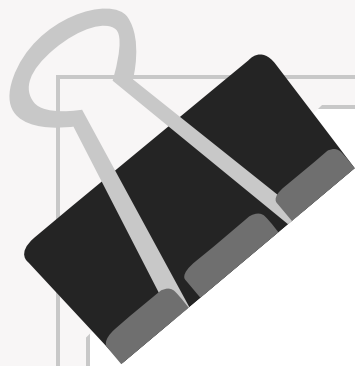


【 現在の課題 】

- ✔ オオサンショウウオの個体識別
- ✔ 水の流れの客観的な測定
- ✔ ストレスを与えない調査方法・頻度の検討

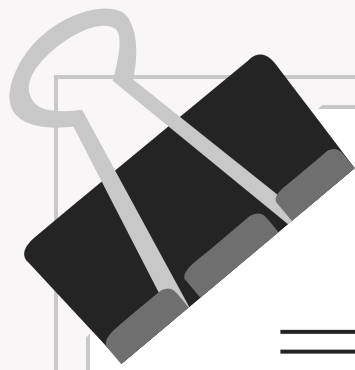


定住している同じ個体？別の個体？



04

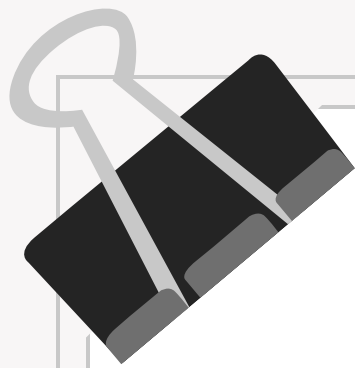
今後の展望



【 今後の展望 】

- **データ数を増やして仮説を検証**
- **水深、流れ以外の利用条件も検討**
- **土砂が堆積しやすい巣穴と堆積しにくい巣穴の
周辺環境の違いの調査**





—— [THANK YOU!] ——

**ご清聴ありがとうございました！
今後もしよろしくお願ひします！**

オオサンショウウオ班